



いすぐみだより

分園1歳児



令和5年2月1日発行

物と言葉、言葉と行動の一致

寒さが本格的になりました。雪を見たり氷に触れる機会があり「雪が降ってるね」や「冷たい」「寒い」などの体験ができました。このように日頃の生活の中で物や言葉と行動を結びつけて一致させてくことをより意識しながら過ごすようにしてきました。「ズボン履こうね」と声をかけてから援助し、子どもがこれからする行動と言葉を結びつけ見通しをもてるようにする、「赤だね」「犬いたね」などゆっくりと言いながら名前と言葉を結びつけられるようにするなど丁寧に関わるようにしています。発語が増えてくると大人の言ったことを真似して「〇〇取って」「〇〇食べたい」など要求時でも言葉を使うようになり、「取って」「開けて」などの要求語や「おいしい」「楽しい」などの感情語、「かわいい」「きれい」などの形容詞（形容動詞）、「行っちゃった」「落ちた」「ちょうだい」などの動詞も出てきます。「お茶」「行く」と言ったときにはすぐに行動に移さず「お茶飲むの?」「お散歩に行くの?」と大人が聞きくようにしています。このような会話が繰り返される中で、2つのことが常にセットでイメージされるようになって「バス行っちゃった」などの二語文が出てくるようになるそうです。2つのことをつながり意識するようになると、二語文の表出だけでなく認識の世界でも2つの物事の前後関係や「〇〇は〇〇するもの」という用途もわかり始め、2つのことに関連性に気づき始める段階と言われています。1月に入りりす組の子どもたちは多くの言葉が出るようになってやり取りがおもしろくなってきました。自分の思いを様々な形で表現しています。子どもの訴えに対し丁寧に応えることはわかってもらえたという安心感に繋がります。今後も一人のひとりの気持ちに寄り添い、子どもたちが楽しみながら言葉の理解や獲得へと繋がるように関わっていきたいと思います。



《今月の目標》

- 友だちや保育者と簡単なやり取りをしてあそぶ。
- 全身を使ってあそぶ。（運動あそび・指先あそびなど）



♪思いやり

手洗いをしているときに、自分が洗い終わると「あいたよ」と声をかける子が多くなりました。特に教えたわけではないのですが、保育者が「あいたよ」と声をかけていたのを聞いていたり、周りの様子がわかるようになったのだと感じます。自然にこんな姿が出てきて、相手を思う気持ちは小さい時期からでも育つのだと改めて感じられた場面です。相手を思う気持ちを大事に育てていけるよう大人の私たちも気遣いや気配りを忘れずにしていきたいですね!



《活動内容》

- 発表会ごっこ
- 散歩（徳親公園、そよ風公園など）
- 運動遊び（またぐ、くぐる、跳ぶ、走るなど）
- 指先遊び（ひも通し、クレヨン、粘土、砂遊びなど）
- など